

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成28年11月24日(2016.11.24)

【公表番号】特表2015-534122(P2015-534122A)

【公表日】平成27年11月26日(2015.11.26)

【年通号数】公開・登録公報2015-074

【出願番号】特願2015-535820(P2015-535820)

【国際特許分類】

G 02 B 6/46 (2006.01)

G 02 B 6/40 (2006.01)

【F I】

G 02 B 6/46 3 1 1

G 02 B 6/40

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月3日(2016.10.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

光ファイバー回路を収容するカセットであって、

カセットが、

カセットのボディ内に収容される可撓性基板および可撓性基板により支持される複数の被覆される光ファイバーを含む可撓性光回路を有して成り；

光ファイバーは、基板の一部分にて複数のマルチファイバー・コネクタと基板の別部分にてより少ない数のマルチファイバー・コネクタとの間を接続する第1の複数の光ファイバー、および該一部分にて複数のマルチファイバー・コネクタの少なくとも1つに接続のみし、ダーク・ファイバーである第2の複数の光ファイバーを含み、

基板の一部分に供されるマルチファイバー・コネクタは、信号を伝送するためのファイバー信号パスの全てを使用しておらず、いくつかのダーク・ファイバーを含み、

基板の別部分に供されるより少ない数のマルチファイバー・コネクタは、信号を伝送するためのファイバー信号パスの全てを使用してあり、

第1の複数の光ファイバーの全てがファイバー信号パスのためいかなるパワー又は波長も分割又はスイッチングすることなく、基板の一部分にてマルチファイバー・コネクタと基板の別部分にてより少ない数のマルチファイバー・コネクタとの間に非干渉のファイバー経路を供するように、可撓性基板により供される光ファイバー回路がパッシブ回路であり、

基板の一部分にて少なくとも1つのマルチファイバー・コネクタに接続される第1の複数の光ファイバーおよび第2の複数の光ファイバーが信号伝送ファイバー、ダーク・ファイバー、および信号伝送ファイバーの共通パターンで供されており、

基板の一部分に供されるマルチファイバー・コネクタが12本のファイバーから成る列を少なくとも1つ各々含み、基板の別部分に供されるより少ない数のマルチファイバー・コネクタが12本のファイバーから成る列を少なくとも1つ各々含み、並びに

基板の一部分に供されるマルチファイバー・コネクタおよび基板の別部分に供されるより少ない数のマルチファイバー・コネクタがカセットのボディの一部として供される光ファイバー・アダプターに接続される、カセット。

【請求項 2】

マルチプル基板が供され、各基板の光ファイバーが多列のファイバーを有する単列の单一のマルチファイバー・コネクタに接続される、請求項 1 に記載のカセット。

【請求項 3】

マルチプル基板が供され、各基板の光ファイバーが多列のファイバーを有する 1 よりも多い列の単一のマルチファイバー・コネクタに接続される、請求項 1 に記載のカセット。

【請求項 4】

光ファイバーは 2 つのマルチファイバー・コネクタ間を接続しており、一方のコネクタが前面側又は背面側にあり、他方のコネクタが側面側にある、請求項 1 に記載のカセット。

【請求項 5】

光ファイバーは 3 つのマルチファイバー・コネクタ間を接続しており、光ファイバーの少なくともいくつかはマルチファイバー・コネクタの 1 つにループバックしており、他の光ファイバーの少なくともいくつかは別のマルチファイバー・コネクタへ通じており、デイジーチェーンで別のマルチファイバー・コネクタにマルチファイバー・コネクタの 1 つを接続することが可能である、請求項 1 に記載のカセット。

【請求項 6】

光ファイバーが異なる種類のソースに接続される、請求項 1 に記載のカセット。

【請求項 7】

光ファイバーのいくつかが信号を伝送し、および光ファイバーのいくつかが制御回路および/または表示光源に接続される、請求項 1 に記載のカセット。

【請求項 8】

光ファイバー回路であって、

基板および基板により支持される複数の被覆される光ファイバー・ケーブルを含む光回路を有して成り；

マルチプル要素チャネルが単一のマルチファイバー・コネクタに接続されており；

光ファイバー・ケーブルが、2 つのマルチファイバー・コネクタ間を接続する第 1 の複数の光ファイバー・ケーブル、および 1 つのマルチファイバー・コネクタに接続のみし、ダーク・ファイバーである第 2 の複数の光ファイバー・ケーブルを含み；

2 つのマルチファイバー・コネクタは 3 つのマルチファイバー・コネクタに接続されており、2 つのマルチファイバー・コネクタは 3 つのマルチファイバー・コネクタに接続する全てアクティブのファイバーを含み、3 つのマルチファイバー・コネクタは、3 つのマルチファイバー・コネクタに接続のみされるダーク・ファイバーを更に含み；

2 つのマルチファイバー・コネクタは第 1 方向に向いており、3 つのマルチファイバー・コネクタは反対の方向に向いており、

2 つのマルチファイバー・コネクタおよび 3 つのマルチファイバー・コネクタは 1 2 本のファイバーのマルチプルを含む、光ファイバー回路。

【請求項 9】

光ファイバーが、2 つのマルチファイバー・コネクタ間を接続する第 1 の複数の光ファイバー、および一方のマルチファイバー・コネクタに接続のみし、ダーク・ファイバーである第 2 の複数の光ファイバーを含む、請求項 1 に記載のカセット。

【請求項 10】

3 つのマルチファイバー・コネクタが基板の一部分に供され、および 2 つのマルチファイバー・コネクタが基板の別部分に供される、請求項 1 に記載のカセット。

【請求項 11】

基板の一部分に供されるマルチファイバー・コネクタが、1 2 本のファイバーから成る列を少なくとも 1 つ各々含み、および基板の別部分に供されるより少ない数のマルチファイバー・コネクタが 1 2 本のファイバーから成る列を少なくとも 2 つ各々含む、請求項 1 に記載のカセット。

【請求項 12】

基板の一部分に供されるマルチファイバー・コネクタが、1 2 本のファイバーから成る列

を少なくとも 2 つ各々含み、および基板の別部分に供されるより少ない数のマルチファイバー・コネクタが 1 2 本のファイバーから成る列を少なくとも 2 つ各々含む、請求項 1 に記載のカセット。